

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

### あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、「あつぎこどもの森公園」において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかしながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- ・ 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である「あつぎこどもの森公園」の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- ・ 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- ・ 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻70号

写真 吉田文雄・山口勇一・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail [atugikodomonomorikurabu@gmail.com](mailto:atugikodomonomorikurabu@gmail.com)

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

## 樹液の酒場

2022年7月16日(土)



主催 あつぎこどもの森クラブ



# 樹液に集まる虫

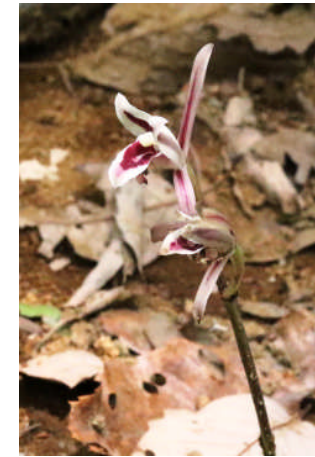
# 最近のこどもの森公園

7月9日

## 植 物



チダケザシ



マヤラン



イチヤクソウ



オトギリソウ  
(午前中だけの花)



ツクサ



ヤブカンソウ  
一つの花は 1 日だけ



キハギ



ヤマコウバシ 実



カブトムシとオオスズメバチ

スミナガシ

カブトムシの集まる夜の餌場は、クヌギやヤナギ、イタヤカエデなどの広葉樹がカミキリムシなどによって傷つけられ、染み出た樹液が自然発酵しているところです。

発酵した樹液の甘酸っぱい匂いに誘われていろいろな虫がやってきます。

樹液の出る場所は限られていて場所取り争いで大賑わいとなります。

これらの虫ははタヌキやカラスなどに襲われることもあり、周辺は角や翅が大量に落ちていることもあります。

餌場は厳しい生存競争の場です。

オオムラサキ







ネムノキ花



サルトリイバラ  
実は秋に赤くなる

蕨苔類



エゴノネコアシ  
がエゴノキに作る虫こぶ



イチヨウウキゴケ  
消えたかと思っていたのが今年三年ぶりに出現しました。

昆虫



マユタテアカネ



オオシオカラトンボ♀



タイミョウセセリ



ジャコウアゲハ 女



ニイニイゼミ 抜け殻



クルマバッタ 幼虫

クモ ほか



カバキコマチグモ 巣

カバキコマチグモはススキの葉を折って左のような巣を作ります。

雌はこの中でたまごを産み、産まれた幼生は、母親のからだを食べて成長します。

注意 不用意にこの巣を開きクモに噛みつかれると非常に痛いので開けないこと。



キジ コナラの丘(2022.6.18)



モグラ?ネズミ?



# 活動の記録

茶摘み・製茶 5月3日



今年5月2日が八十八夜でした。立春から数えて八十八日経つこの頃は新茶の摘み取りにいい時期と言われているので、こどもの森でもお茶づくりに挑戦しました。

茶摘み

枝先の3枚ほどの葉を摘み取ります。

チャノキは少ししかないのに意外と時間がかかります。



摘んだ茶の葉は集めてせいろで蒸します。

蒸した茶の葉はガスコンロにのせた鉄板の上に和紙をのせて、この上で擦るように揉みます。水気がほとんどなくなる

まで揉むのでこれが一番大変です。

ガスコンロでなく、囲炉裏の炭火の上でも試してみました。

最後は天日で乾燥して仕上げます。出来たお茶は試飲して、残りはお土産にしました。

一般募集で行うこの行事、来年もする予定です。



## くぬぎの丘の草刈り



今年もくぬぎの丘の草刈りを業者の方が行う前にひもの目印をつけて、周辺部は高刈りをしてもらいました。

草丈の低いところはクルマバタなど、高いところはオナガササキリなど住む虫が違うのに対応してマラっています。

## こどもの森ガイドウォーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

ガイドウォークはコロナの蔓延期間中定員20名にしています。原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込めます。

管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。 開始時間要確認

4月16日	スミレの秘密	10月15日	秋の花
5月21日	キアシドクガ 一手すりの上のドラマー	11月19日	木の実・草の実・キノコ
6月18日	木に咲く花	12月17日	生き物の冬越し
7月16日	樹液の酒場	2023年	
8月20日	水辺の生き物 次回	1月21日	冬の野鳥
9月17日	谷戸のシダ	2月25日	冬芽とコケ
		3月18日	春の兆し

## 水辺の生き物調査隊（申し込み制 年間メンバー固定）

- 4月10日 こどもの森公園と水生生物について
- 5月 8日 両生類～カエル・イモリについて
- 6月12日 ホタルについて
- 7月10日 水生カメムシについて
- 8月21日 トンボについて ← 次回
- 9月23日 河川調査について
- 10月 2日 外来生物について
- 10月16日 水生コウチュウについて 七沢遠足
- 11月13日 ホトケドジョウについて
- 12月11日 冬の生き物の過ごし方
- 1月 9日 落ち葉かき・カブトムシ増やし
- 2月12日 トンボの幼虫を絵に描こう
- 3月12日 ヤマアカガエルについて

新型コロナウイルスの蔓延状況により中止の場合があります。

## 植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

## 草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

## いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜14時 ~16時